

日経新聞を読むポイント～新しくなった朝刊と電子版～
～ママ FP のひとりごと⑫～

ファイナンシャルプランナー 鈴木さや子

先月、日経新聞を毎日少しでも読み続けるためのコツをお届けしました。5月中旬には、日経朝刊の紙面構成がリニューアルされましたが、しばらく慣れるまでに戸惑った方も多かったのではないのでしょうか。今月は、5月14日から新しくなった紙面のポイントと、日経新聞の電子版を Web で閲覧する際のポイントやデメリットを、お届けいたします。

1. 何が変わったの？日経新紙面

■大きく変わった1面

まず、初めて新紙面1面を見た時の印象は「え？これ日経？」という感じ。これまでは白黒写真やグラフ、ぎっしり詰め込まれた字で構成されていた紙面が、他の新聞のように、カラフルに取っ付きやすくなったという印象を持ちました。

1面上部と左部には、日本や世界の動きを視覚的に捉えることができるよう、重要記事が一覧表示されています。面積もタイトル文字も大きくなってとても見やすくなりました。同時に、日経平均株価や為替・金利などのマーケット指標も右側から左側に移動。時間がないときは、この一覧表示部分だけ眺めるのも手ですね。

人気コラム「春秋」も、レイアウトが変わって、すっきり読みやすくなりました。私は毎朝このコラムから日経を読み始めています。寝起きのアタマでもすんなり入ってきてちょうどいいからです。

■2～3面の「総合」面は見開きで展開

1面をパラっとめくると、以前は国内政治のニュースがずらりと並んでいましたが、目に飛び込んできたのは為替や海外政治、社会保障など、テーマを問わず、並んでいる記事。今、国民として知っておきたいニュースが、見開きでぱっと見られるようになりました。それぞれの内容をアタマの中で関連付ける作業が、楽になりましたね。私は、1面の経済指標を折っておいて、見比べながら読んでいます。ニュースの背景をやさしく解説する「真相深層」や、一つのテーマを深く掘り下げる「迫真」といった特集コラムも面白いですよ。また、旬の言葉を解説する「きょうのことば」は、コーナーの広さ、図やグラフの大きさも拡大され、とても分かりやすくなりました。

■「マーケット」面も見やすく

一見、場所の配置が入れ替えられただけに感じるのですが、日経平均や為替、金利などの主な指標が、ぱっと目に入るよう工夫されています。また、アジア株や金などの情報もよく取り上げられるように。そして、マーケット面をめくると、商品市場に関するニュースが読めるので、お金の流れがより深く理解できるようになったのも嬉しいです。

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2012 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

■子どもを持つ親必見の「大学」面とビジネスマン必見の「キャリアアップ」面

これまであった「教育」面（月曜）に加え、月・木曜日に「大学」面がスタート。大学改革や就活、人材育成などに特化した内容で構成されています。火曜日の「キャリアアップ」面も刷新。かしこい仕事術や、女性のキャリア形成など、社会人なら読んでおきたい特集がいっぱいです。

毎週月曜日に主な景気指標がまとまって掲載されています。日経を読むのに慣れてきたら、この欄を1週間取っておいて、毎日のニュースから興味を持った指標をチェックしてみましょう。さらに理解が深まり、読むのが楽しくなってくると思いますよ。

2. 日経電子版の特徴

日経には、紙面とは別に Web で閲覧できる電子版のサービスもあります。このサービスには誰でも登録できる無料会員と、便利なサービスが満載の有料会員があり、利用方法に合わせて選べます。

無料会員も見ることのできるサイトは、次のような構成となっています。

テーマごとに分類されて、新しいものからニュースを閲覧できます。

有料会員のみ閲覧可能

主要マーケット指標。「日経平均」をクリックすると「マーケット→株式」ページに、「ドル・円」をクリックすると「マーケット→為替・金融」ページにジャンプします。

各テーマのおすすめ記事がピックアップされています。

産業ごとに関連記事を検索して、一覧表示するサービスもあります。

主要ジャンルの各項目をクリックすると、そのジャンルで検索されたニュースやコラムが、一覧で表示されるので、とても便利です。

— コラムの無断転写・転載などを禁じます。 —

さらに、電子版会員になると、重要なニュースがいち早く配信される「速報メール」や、経済や企業の情報などの記事タイトルが載っている「日経ニュースメール」が1日3回配信されます。旬のニュースが手元に届くので、仕事でもデスクなどでぱっと見られていいですね。

それでは、無料会員と有料会員は、何が違うのでしょうか。

＜日経電子版有料会員価格＞

新聞と一緒に申し込む場合：
新聞購読料+1,000円
単体で申し込む場合：
税込み月額4,000円

日経電子版を有料で契約すると、紙面イメージをそのままPC上で閲覧できたり、記事を保存したりできるようになります。また、指定した単語で自動的に記事を集めるなど、検索機能もぐんとアップします。過去5年分の記事タイトルも検索できるのが嬉しいですね。また、有料

会員のみ閲覧できる記事も、多数あります。(無料会員も月20本までは閲覧可能です。)

ちなみにこの電子版、携帯電話や、スマートフォン、タブレット端末で楽しむには、有料会員に登録する必要があるそうですよ。

このように、とても便利な電子版ですが、どのようなデメリットがあるでしょう。誰でも閲覧できる無料会員サイトで考えてみました。

○全体の中での各ニュースの重要度合が、紙で見るとよりわかりづらい。

○赤線を引いたり、マーカーでチェックしたり出来ない。

○狙った記事をピンポイントで読むことには適しているが、周辺記事と関連付けながら読むことができる紙面に比べ、記事の理解度が浅くなる恐れがある。

○視覚的に捉えられる情報量(ぱっと目に入る部分)が、紙面よりもやや劣る。

有料会員になり、大きな画面で紙面イメージを読むようになると、ほとんどのデメリットは解消できるかと思います。ただ、保存しておきたい部分にハサミを入れたりする、という指を動かす作業がなくなるのも、個人的には寂しい、と感じています。

2ヵ月にわたり日経新聞の読み方・特徴などを見てまいりましたが、いかがでしたか？読み慣れてくると、毎日の新聞を読むのが、とても楽しく有意義な時間となります。皆さんも自分なりの日経の楽しみ方を見つけて下さいね。そして私は、電子版の検索機能に魅かれたので、いつかタブレット端末を購入した日には、紙面から電子版の有料会員に変更しよう…と思ったのです。

《今月のお気に入り曲》

交響曲第5番『革命』

／ショスタコーヴィチ作曲
人気の指揮者佐渡裕さんが、ベルリンフィルデビュー公演の際に取り上げた曲。3楽章までは苦悩の連続、4楽章では一転して喜びが爆発します。コンサートの定番曲。

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2012 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.